

令和8年度鴨川市総合計画審議会 第1回会議 会議録

1 日 時 令和8年9月29日（火） 午前10時00分から正午まで

2 場 所 市役所本庁舎4階大会議室

3 出席者

（1）委 員

No.	氏 名	所属・職名	備 考
1	飯塚 和夫	安房農業協同組合 常務理事	会長
2	久根崎 達郎	一般社団法人鴨川市観光協会 会長	
3	山内 雅史	公共社団法人安房医師会（東条病院） 理事	
4	宗政 智子	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会	
5	大滝 令嗣	学校法人鉄蕉館亀田医療大学 理事長	副会長
6	森 伸也	鴨川市金融団（房総信用組合鴨川支店） 幹事（支店長）	
7	三平 和芳	館山公共職業安定所 所長	
8	伊丹 賢	鴨川記者クラブ（有限会社房州日日新聞社） 鴨川支局長	
9	中野 誠	公募委員	

（順不同、敬称略）

※欠席

No.	氏 名	所属・職名	備 考
1	松井 政人	鴨川市漁業協同組合 参事	
2	江澤 誠	鴨川市商工会 青年部長理事	
3	村田 智子	村田事務所 所長	

（順不同、敬称略）

（2）市

No.	所属・職氏名	備 考
1	市 長 佐々木 久之	

2	副市長 杉田 至	
3	教育委員会 教育長 蒔苗 茂	
4	参事（総務担当）兼企画政策課長 小柴 則明	事務局
5	参事（建設経済担当） 野村 敏弘	
6	市民生活課 課長 山口 紀子	
7	スポーツ振興課 課長補佐 吉田 寛和	
8	企画政策課 課長補佐 田中 仁之	
9	企画政策課企画係 係長 西宮 孝一郎	事務局
10	企画政策課企画係 主任主事 高梨 洋一	〃
11	企画政策課企画係 主事 中澤 一希	〃

（４）傍聴者

３名

４ 資 料

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料１ 鴨川市総合計画審議会の運営方法について
- ・ 資料２ 鴨川市第４次５か年計画及び総合戦略の評価指標の最終年度評価について
- ・ 資料３ 鴨川市第４次５か年計画執行実績
- ・ 資料４ 第２期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業実績
- ・ 資料５ 地方創生関連交付金等の活用状況について
- ・ 資料６ 地方創生関連交付金事業の実施結果及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況
- ・ 参考資料 鴨川市第４次５か年計画及び第２期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

5 会議内容

(1) 開会 (10 時 00 分)

(2) 委嘱状交付

市長から出席委員へ委嘱状を交付した。

(3) 市長あいさつ

(要旨)

日頃からの市政へのご理解とご協力、そしてこのたび総合計画審議会委員をお引き受けいただいたことに、心から感謝申し上げます。はじめに、台風第 25 号によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。市としても、関係機関や地域の皆様と連携し、復旧と生活再建に全力を挙げて取り組む。今回の災害を通じ、防災・減災対策の重要性を改めて認識したところである。

現在、本市は人口減少や少子高齢化をはじめ、多くの課題が複雑化している。こうした課題に対応し、将来にわたって持続可能なまちを築くためには、長期的な視点に立ったまちづくりが欠かせない。

総合計画は、本市の将来の姿を市民の皆様と共有するための重要な指針である。本審議会では、5 か年計画の実績及び総合戦略の効果検証について、本日を皮切りに約 3 年にわたりご審議いただく。委員の皆様におかれては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜り、幅広くご議論をいただきたい。

(4) 会長、副会長の選出

市長の進行により、会長に 飯塚和夫 委員 を、副会長に 大滝令嗣 委員を選出した。

(5) 議題

鴨川市附属機関設置条例第 5 条第 2 項の規定に基づき会議が成立したことについて事務局から報告した後、同条第 1 項の規定に基づき、飯塚会長が議長となって議事を進行した。

議題 1 鴨川市総合計画審議会の運営方法について

資料 1 により、事務局から説明し、資料のとおり承認した。

この資料に基づき、議長から、名簿順に 久根崎 委員及び 山内 委員を会議録署名委員として指名した。

質疑等は、なし。

議題 2 第 3 次鴨川市総合計画及び第 3 期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

配布した第 3 次鴨川市総合計画及び前期実施計画について事務局から説明した。

質疑等はなし。

議題3 鴨川市第4次5か年計画及び第2期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終評価について

資料の2により、事務局から説明し、資料のとおり承認された。

コメント及び質疑等は次のとおり。

・ 市民アンケートの結果と評価指標について

《伊丹委員》

市民アンケートの結果においてD評価がついている項目が多く見られるが、市としてはこの結果をどう認識しているのか。同じ行政サービスを維持していても市民の気持ちというのは、より改善を求めるため、評価として下がってしまうのではないか。同じようなアンケートを続けていては評価が下がっていくことが予想される。項目にあるような行政がやっていることが下がっているとは思わないので、そういった面でどう考えているか。

《西宮係長》

5年前の計画策定時と同様のアンケート項目で行った結果、D評価が多数となってしまう、非常に残念な結果と受け止めている。今後の行政サービスの向上を図り、満足度を上げていきたいとは考えるが、次期5か年計画策定時のアンケート実施の際には、今回いただいたご意見を踏まえ、質問項目などアンケートの手法を検討する。

《教育長》

子ども会や青少年相談員等の組織そのものがなくなっている地区などもある。そのため、基準値そのものの見直しも今後視野に入れていきたいと考える。

《市長》

アンケート結果について市民の期待が大きいだけに不満も大きくなる傾向がある。交通手段に対するニーズも年齢層や仕事によって異なるため、アンケート指標の見直しが必要であると考えている。

・ 有害鳥獣の年間被害額について

《飯塚会長》

有害鳥獣による年間被害額について、農家が対策を講じていても被害額が増加している。農家の意欲をそがないような国や県を巻き込んだ施策を今後講じてほしい。

・ 非常時の交通情報網について

《村田委員（当日欠席のため事前質問）》

台風被害において非常時の交通網の情報が少なすぎる。近隣の通行止め情報等を「鴨川市

安全・安心メール」等で発信してほしい。

《田中補佐》

今回の災害では、公共交通機関等から入った情報を随時ホームページやLINEでお知らせしていたが、市外の道路情報までは十分に網羅・発信できていなかった。

今後は、日本道路交通情報センターが発信する全国の通行規制情報などの正確な外部情報源へのリンクや案内も含め、より迅速かつ広範囲な交通情報を「鴨川市安全・安心メール」やSNS等で発信できるよう改善に努めていきたい。また、災害時には市民の皆様ご自身で確実に情報を取得していただくことが極めて重要であるため、どこから情報を得ればよいかといった周知の徹底など、防災教育の面からも総合的に取り組んでまいりたい。

・ 5か年計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけについて

《宗政委員》

5か年計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の棲み分けについて教えてほしい。

《田中補佐・西宮係長》

総合計画の基本構想を頂点に、基本計画（5か年計画）がある。総合戦略は「まち・ひと・しごと創生法」に基づき国の交付金や制度を活用するために策定するものであり、基本計画と内容が重複する部分が多いため現在は一冊の冊子にまとめて策定している。

・ 全国市町村満足度ランキングについて

《大滝副会長》

市民の満足度調査について、全国の市町村の中での鴨川市のランキングや位置づけはどうか。

《田中補佐》

マスコミ等のランキングは手元にはないが、財政状況等の各種統計から見ても本市が決して良い状況とは言えず、全国の自治体の中でワーストに近い部分もある。

・ 外国人宿泊者数の目標値について

《大滝副会長》

資料2の17ページ外国人外国人宿泊者数の目標値（6,817人）が非常に少ないと感じた。積極的に受け入れる姿勢があまりないのではないかと見受けられる。

《西宮係長》

コロナ禍真只中の令和2年度に策定された当時の目標値であるため、そのような数字になっていると考える。

・ 総合戦略の達成度についてと農林業就農者数について

《村田委員（欠席のため事前質問）》

総合戦略について、C、D評価が上回っており、高齢者にとっては満足度が高く、若い人にとっては住みにくい街なのではないか。

また、耕作者の高齢化に、耕作地放棄の増加、相続人が鴨川に居住していないため農地を手放したい方が増えている。農林業の新規就農者の認定基準をもう少し下げて経営耕地面積を増やしてほしい。

《田中補佐》

農地取得の下限面積要件が令和5年度の法改正で撤廃されている。営農担保の要件も様々あるが、いただいた意見を担当課と共有し今後の農業政策に活かしたい。

・ 鴨川市のデジタルリテラシーについて

《大滝副会長》

鴨川市の市民のデジタルリテラシーのランキングや現状はどうか。市としてデジタル化を進めることは重要だと感じる。

《田中補佐》

特段のリテラシーランキングの把握はないが都市部よりは低いと認識している。「書かない窓口」は高齢者の申請を職員が手助けする仕組みとして近隣自治体からも高く評価されており、今後はDXやAIの活用も含め多分野で推進していきたい。

議題4 その他

《森委員》

5か年計画や総合戦略でD判定が目立ったため、PDCAサイクルをしっかりと回して今後の発展に対応してほしい。

《久根崎委員》

第4次から第5次計画へ移行するにあたり、大きく変わった点を3つ教えてほしい。

《西宮係長》

①将来都市像を「健康と観光の融合都市」に変更したこと、②人口減少を前提として対策を進める方針に合わせたこと、③文書を端的にし、市民に分かりやすい構成にしたことが主な変更点である。

《久根崎委員》

財政難の中、切り詰めるべきところは切り詰める必要がある。天津の火葬場の統合やゴミ中継センターの問題、消防団の夜間業務の見直しなど大きなコストがかかる部分の整理や、閉校跡地・太海フラワーセンター・市民会館跡地などの計画的な活用を要望する。

《副市長》

太海フラワーセンターについては、今年度から約 24 か月かけ 3 期に分けて解体撤去を行う予定である。更地になってからではなく、解体工事期間中の来年度に民間事業者を対象とした公募型プロポーザルを実施し、次の事業展開がスムーズに進むよう検討している。

経常収支比率は令和 7 年度決算で 100%を下回ったが、依然油断はできない。

住みよさランキング（三菱 UFJ 不動産グループ公表）において、鴨川市は全国 812 団体中 725 位（千葉県内 54 市中 27 位）という結果が出ている。また、全国 DX スコアマップに基づく鴨川市のデジタルリテラシー指数は 49.3（全国平均 54.5 を下回る）となっている。

・次回会議の日程について

事務局から、次回会議の日程については、来年度の同じ時期を予定しており、調整の上で、改めて連絡することを報告した。

（6）閉会（12:00 分）

（以上）

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 条第 3 項の規定により、鴨川市総合計画審議会第 1 回会議における会議録の内容について確認します。

令和 8 年 10 月 22 日

久根崎 達郎

山内 雅史